

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2012.5.25 No.136 連絡先 FAX 042-555-1911



5月の風に吹かれながら第38回横田座り込み

5月20日は、仮称「てつきよの会」が呼びかけている横田基地前の座り込みでした。東京平和委員会の事務局長からは「自衛隊のレンジャー部隊が市街を行進する計画があり地域から中止を求める運動が起こっている」との報告や、アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会の方、新日本婦人の会都本部、東京地評、三多摩労連の方のお話、国民平和大行進に通り行進者として参加している「てつきよの会」の渡邊さんからの手紙を青年が代読するなど、バラエティーに富んだ交流が行われました。



8月19日の第41回座り込み行動は、横田基地友好祭が18日、19日の両日に行われるため、会場は福生市民会館前の福生公園になる予定です。トランペット奏者の松平晃さんが参加予定です。

米軍再編交付金 横田基地周辺5市1町では 5年間で25億円超！

米軍再編交付金制度とは、yahoo 辞書に次のように書かれています。「2007年5月の国会で成立した「駐留軍等の再編の円滑な実施に関する特別措置法」に盛り込まれた自治体への交付金制度。同法は06年5月に日米両政府で合意した在日米軍再編計画の着実な実施を後押しするための法律で、17年3月末までの10年間の時限立法である。」「新しい訓練や施設建設を受け入れた地方自治体に対して段階的に交付金を出す新制度をこの法律で創設した。初年度となる07年度には51億円を計上している。最終的には総額1000億円規模になる見込みである。新しく再編の米軍基地を受け入れ、協力することを表明した地方自治体に交付されることになっており、(1)受け入れ表明、(2)環境影響評価に着手、(3)施設整備に着手、(4)再編の実施、と受け入れの進み具合に応じて金額が増える仕組みとなっている。」[新語探検 著者：亀井肇 / 提供：JapanKnowledge]

福生市をはじめ横田基地周辺自治体は、新しく再編の米軍基地を受け入れ、協力することを表明した地方自治体なんですね。それにしても環境影響評価はしたのでしょうか。

再編交付金は、最終的には10年間で総額1000億円規模になる見込みですが、横田基地周辺5市1町は5年間で25億3197万円となっています。交付額は以下の通りです。

横田基地周辺市町 再編交付金 交付額 (2007年度～2011年度)

年度	福生市	昭島市	立川市	武蔵村山市	羽村市	瑞穂町	5市1町計
2007年度	51,917,000	25,958,000	25,958,000	25,958,000	25,958,000	38,923,000	194,672,000
2008年度	138,437,000	69,204,000	69,204,000	69,204,000	69,204,000	103,835,000	519,088,000
2009年度	138,437,000	69,204,000	69,204,000	69,204,000	69,204,000	103,835,000	519,088,000
2010年度	138,437,000	69,204,000	69,204,000	69,204,000	69,204,000	103,835,000	519,088,000
2011年度	208,000,000	104,000,000	104,000,000	104,000,000	104,000,000	156,000,000	780,000,000
合計	675,228,000	337,570,000	337,570,000	337,570,000	337,570,000	506,428,000	2,531,936,000

※ 再編交付金は、2007年度から2016年度の10年間交付される。

情報提供のあった緊急管理演習（EME）の実態は？

（No. 136 の裏面）

前号で、横田基地における緊急事態への対応能力を図ることが目的の、緊急管理演習（EME）を行うとの情報提供があったとお知らせしました。この演習がどんなものか 3 月の演習を例にふれましたが、5 月 16 日に行われた様子が米軍横田基地のホームページに載っていました。

模擬患者の負傷兵に、石ころの型取り（？）化粧をしている写真（顔にケガをしているように化粧）、仮装火災の現場に消防士たちが到着した写真、倒れている仮装負傷者をパトロールマンが救援するために駆けつける写真、医療グループの航空従事者が仮装負傷者に自己援助とボディのケアを行う写真などがあります。そして被災者は、軽傷か、手遅れか、遺体安置所行きなのかなど、4つのカテゴリーに分けられます。最後は犠牲者を輸送する準備をする写真です。

横田基地で重傷者が出た場合に運ばれるのが青梅総合病院？

青梅市の平成 24 年度予算の中に、横田基地から青梅市立青梅総合病院を結ぶ最短距離の道路の改修のための補助金が国から出ていることが、田中瑞穂青梅市議の質問でわかりました。「防衛施設周辺対策事業補助金」75,895,000 円です。「横田基地で重傷者が出た場合に運ばれるのが青梅総合病院」であるから、ということのようです。道路改修費用の 7 割が国の補助金で、3 割は青梅市が負担します。こうした補助金が、他の自治体にもあるのでしょうか。

「周辺事態に際して我が国の平和及び安全を確保するための措置に関する法律」（1999 年 5 月 28 日法律第 60 号）略して周辺事態法という法律があります。

周辺事態（そのまま放置すれば我が国に対する直接の武力攻撃に至るおそれのある事態等）が発生した時の我が国の対応などを定めたものです。

後方地域支援が定められていて、周辺事態に際して日米安保条約の目的の達成に寄与する活動を行っているアメリカ合衆国の軍隊に対する物品及び役務の提供、便宜の供与その他の支援措置で、後方地域において我が国が実施するものをいいます。補給や輸送などいろいろありますが、医療では「傷病者に対する医療、衛生機具の提供並びにこれらに類する物品及び役務の提供」となっています。上記の青梅市のことは、周辺事態法の存在を私たちに知らせています。

人口密集地や商店街を白昼堂々、武装自衛隊が行進訓練を計画！

《練馬平和委員会より》 6 月 12 日早朝から昼にかけて、陸上自衛隊第 1 普通科連隊が板橋区の荒川の河川敷から練馬駐屯地までの 6.4 キロを、銃と銃剣をもち迷彩をまとった武装行進訓練しようとしています。予定コースは、家々やマンションが密集し、学校や保育園、病院、老人施設も随所にあります。買い物客でにぎわう商店街も行進しようとしています。



写真：練馬区北町・北一商店街

これほどの人口密集地での武装行進訓練は全国でも例がありません！ 憲法 9 条改悪めざす動きが強まるなか、この演習のねらいや危険性、どうすれば中止させることができるかを考える緊急学習会を行います。ぜひ、全都からご参加ください!!

緊急学習会 陸上自衛隊レンジャー訓練・市街地行進（板橋・練馬）の危険性とは？

◎講師：内藤 功さん（弁護士、日本平和委員会代表理事）

・レンジャー訓練とは？ ・市街地行進訓練のねらいは？ ・憲法 9 条改悪めざす動きとの関係は？

◎映像に見る「レンジャー訓練」 ◎板橋、練馬からの報告と訴え ◎反対運動の具体的提起

とき：6 月 1 日（金） 18：30～20：30

会場：「コアいけぶくろ」（豊島区民センター）音楽室 資料代：500 円